

授業概要

子どもの成長・発達を中心に、広く母子の健康に関する問題を取り上げる。一般的な子どもの傷病や集団保育・少人数保育の現場における感染防御や事故防止へのプレパレーション等、保育専門職として保健活動を行うに当たって必要な対応と共に、現代社会における子どもの健康にまつわる諸問題や、地域・他の専門職等の連携のあり方等について知識を深める。医学的・社会的・心理学的なアプローチから、最新の報告に基づいた知見を取り上げる中で、保育所保育における発育・発達の緒段階に応じたヘルスプロモーションにむけて、必要な知識や技能、考え方を学ぶ。

授業計画

第 1 回	健康とは何か（導入討論）、小児保健学における各指標と近年の動向
第 2 回	ヘルスプロモーションにまつわる諸概念と保育所の役割
第 3 回	子どもの身体的な発育・発達 1（身体発育）
第 4 回	子どもの身体的な発育・発達 2（生理機能）
第 5 回	子どもの身体的な発育・発達 3（運動機能）
第 6 回	日常における子どもの健康状態の把握と衛生管理
第 7 回	リプロダクティブヘルスと先天異常
第 8 回	子どもに好発する疾病の概要と対応 1
第 9 回	子どもに好発する疾病の概要と対応 2
第 10 回	疾病の予防と家庭との連携
第 11 回	現代社会における子どもの健康の諸問題
第 12 回	子ども虐待における防止と早期発見
第 13 回	生命の保持と情緒の安定にむけた保健活動
第 14 回	ヘルスプロモーションに関わる諸機関との連携
第 15 回	保育所におけるヘルスプロモーションの課題と展望（総括討論）
第 16 回	定期試験

到達目標

- ・発育・発達への理解を前提に、保育所保育における健康増進や感染防御、事故防止等について知ることができる。
- ・家庭や保育所保育と関連した他機関/専門職との連携のあり方を探り、子どものヘルスプロモーションに資する力を養うことができる。

履修上の注意

授業内の小レポートや、授業外で行う課題を課すことがある。
 ディスカッション等には積極的に参画すること。
 著しい私語等で授業環境を乱す者については、退出を命じる。
 指示された場合を除き、授業内でのスマートフォン等の使用は認めない。

予習・復習

予習としてテキストの予告された箇所を授業前までに通読すること。
 当該テーマのより良い理解のために、授業内で紹介する参考文献や資料による復習をすること。

評価方法

授業内でのディスカッションや小レポート(20%)、定期試験(80%)によって評価する。

テキスト

松本峰雄・他『子どもの保健と安全 演習ブック（よくわかる！保育士エクササイズ 7）』、ミネルヴァ書房（ISBN-13：978-4623089109）
 厚生労働省各ガイドライン